

	ウチエのポータブルトイレ さわやかチェア PT
	ウチエのポータブルトイレ さわやかチェア PTN（幅狭）
	ウチエのポータブルトイレ さわやかあさひ

ご使用のしおり

さわやかチェアPT

- 品番:8220(肘掛け自在)
8221(肘掛けはね上げ)
8222(ホット便座・肘掛け自在)
8223(ホット便座・肘掛けはね上げ)

さわやかチェアPTN

- 品番:8261
8263(ホット便座)

さわやかあさひ

- 品番:8215
8216(ホット便座)

**最大使用者体重
100kg 以下**

- このたびは、弊社の『さわやかチェアPT』『さわやかチェアPTN(幅狭)』『さわやかあさひ』をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- ・ご使用になる前には、本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
 - ・本書は必ず保管しておいてください。
 - ・本品を他のお客様へお譲りになるときは、必ず本書も合わせてお渡してください。
 - ・お買い上げのポータブルトイレは改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。

各部名称



さわやかチェア PT

さわやかあさひ

- 肘掛け支柱
- 背シート
- お座りパッド
- 肘掛け
- 便座
- クッションゴム
- 二重バケツ
- 滑り止めゴム

スペーサーボード

【肘掛け自在タイプ】

移動用車輪

肘掛けロック解除ボタン

スライドパイプ

支柱パイプ

【肘掛けはね上げタイプ】

さわやかチェア PTN(幅狭)

便座

尿ハネガード (ホット便座にはついておりません。)



便座クッション

便座受け

二重バケツ

バケツフタ

バケツ本体

■ 付属品

・布製ペーパーホルダー15 (芯、カバー)

- ・ご使用のしおり(本書)
- ・六角レンチ (二面幅 4mm)



※トイレットペーパーは付属されていません。

・+ドライバー (#3)



※さわやかチェアPTNに付属

仕様

材質	・本体/天然木	・便座/EVA、ABS樹脂	・二重バケツ/ポリプロピレン
	・背シート、座パッド/合成皮革、ウレタンフォーム		
	・滑り止めゴム/合成ゴム	・バケツフタ、バケツ本体/ポリプロピレン	
重量	・さわやかチェアPT: 約18kg (約19kg) ・さわやかチェアPTN: 約17kg (約18kg) ・さわやかあさひ: 約18.5kg (約19.5kg)		
バケツ容量	約10ℓ		
電源 (ホット便座)	AC100V-35W		

※()内はホット便座

サイズ

単位:cm

	さわやかチェアPT		さわやかチェアPTN	さわやかあさひ
	自在	はね上げ		
幅	52	53.5	50	54
奥行	56	59.5	60	59.5
高さ	81.5~90.5		80.5~89.5	81.5~90.5
座幅 (肘~肘)	43	44.5	39.5	44.5
便座奥行	43.5		43.5	43.5
肘から便座	19/21.5/24		19/21.5/24	20/22.5/25
便座高	37~46 (3刻み、4段階)			
背シート奥行	46/48			

肘掛けの取り扱い方

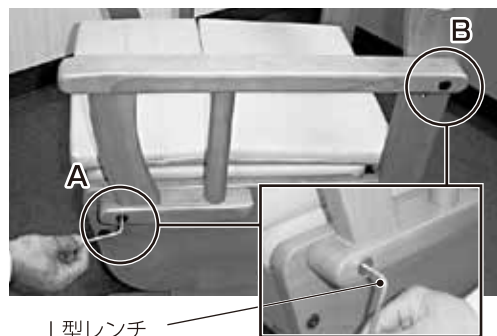
⚠️ 注意 ※人が座っている状態やものを載せた状態で肘掛けを持って移動しないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。

●肘掛け自在タイプ さわやかチェアPT

- 1.肘掛けはA、B2ヶ所のボルトで固定されています。付属のL型レンチを用いて抜いてください。
- 2.ご利用になる肘掛けの長さを上にして取り付け、A・B2ヶ所をボルトでしっかりと締めてください。短い肘掛けはベッド等への横移乗が楽になりますので、ベッドサイドでのご利用の際におすすめいたします。

●肘掛け自在タイプ高さ調節

- 1.肘掛けはA、B2ヶ所のボルトで固定されています。付属のL型レンチを用いて抜いてください。
- 2.ご利用になる高さに合わせて取り付け、A・B2ヶ所をボルトでしっかりと締めてください。高さ調節は3段階です。

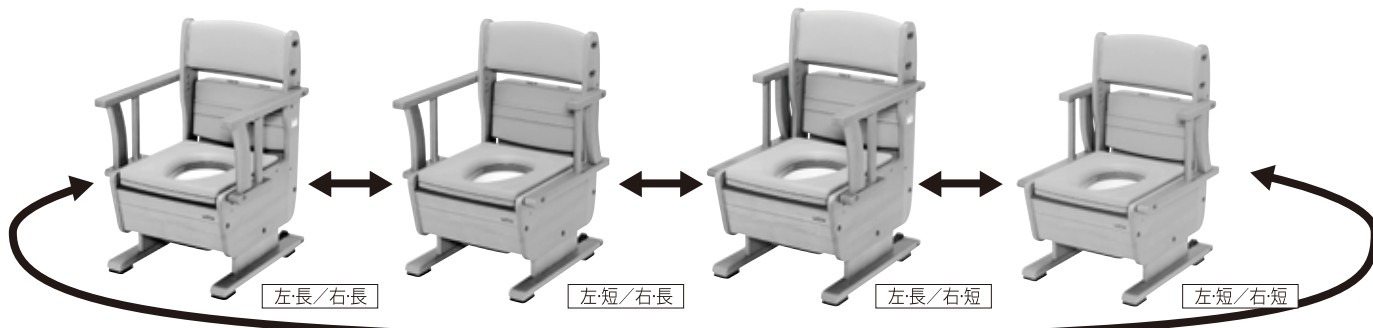
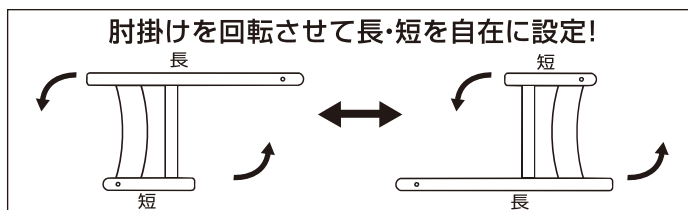


L型レンチ

⚠️ 注意

※ボルトは付属のL型レンチでしっかり締め付けてください。

症状に合わせて肘掛けの長さが4通り付け替えできます



●肘掛けはね上げタイプ

さわやかチェアPT

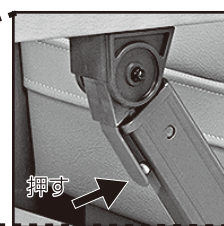
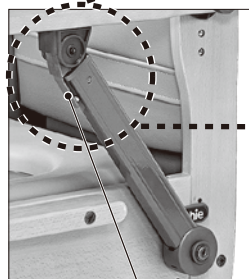
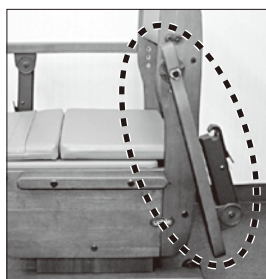
さわやかチェアPTN

- 1.肘掛けロックバーの上部を押してロックを解除し(写真①)、肘掛けをはね上げます。(写真②)肘掛け支柱は折りたたむことができます。『さわやかチェアPT』の肘掛けはさらに後方に回転させることができます。(写真③)
- 2.肘掛けをロックする際は、支柱を(写真②)の状態に戻し、肘掛けロックバーを肘掛け受けにはめこんでください。

さわやかあさひ

- 1.支柱パイプにあるロック解除ボタンを押してロックを解除し、肘掛けをはね上げます。(写真④)
- 2.はね上げた肘掛けを下ろす際は、ロックが掛かるまでしっかり下ろしてください。
※肘掛けを上から押すだけでロックは掛かります。

ここを押して下さい



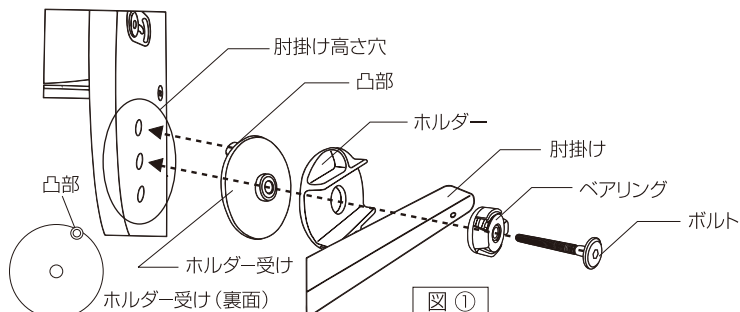
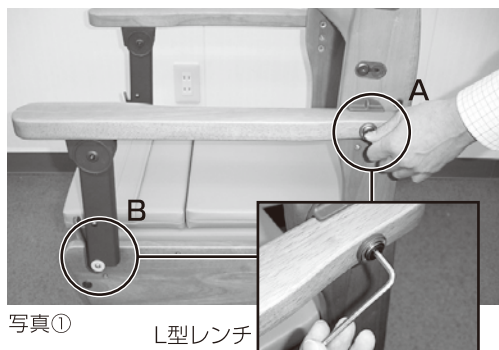
⚠️ 注意

- ※肘掛け支柱を折りたたんだ場合、必ず支柱を(写真②)の状態に戻してから、肘掛け受けにロックしてください。
- ※使用時には必ず肘掛けをロックしてください。ロックがされていないと肘掛けが外れたり、上がった状態で転倒、けがをするおそれがあります。
- ※はね上げた肘掛けに寄りかからないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。特に『さわやかチェアPT』の肘掛けは後方に回転するので寄りかかると危険です。
- ※『さわやかチェアPT』の固定した肘掛けの先端を内側から強く押さないでください。肘掛けロックバーが肘掛け受けから外れ、破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- ※使用者を乗せたまま肘掛けを持って移動しないでください。肘掛けが破損し、転倒、けがをするおそれがあります。
- ※肘掛けをはね上げる際は、肘掛けと支柱のすきまや、可動する肘掛けと本体とのすきまなどに手や指をはさまないように注意してください。けがをするおそれがあります。

肘掛けの取り扱い方

●肘掛けはね上げタイプ高さ調節 さわやかチェア PT さわやかあさひ

1. A・B2ヶ所のボルトを、付属のL型レンチを用いて抜いてください。(写真①)
2. Aのホルダー受けの穴をご利用になる肘掛け高さの穴に合わせます。凸部を上、もしくは下の穴に合わせます。ホルダー、肘掛け、ベアリングの順に取り付け、ボルトで締めてください。(図①)
3. 【さわやかチェアPT】Bの肘掛け受けも先ほど調節した肘掛け高さと同じ段階に合わせ、ボルトで締めてください。(写真②)
【さわやかあさひ】Bの肘掛け支柱も先ほど調節した肘掛け高さと同じ段階に合わせ、座金を通したボルトで締めてください。(写真③)



写真② 肘掛け受け ボルト



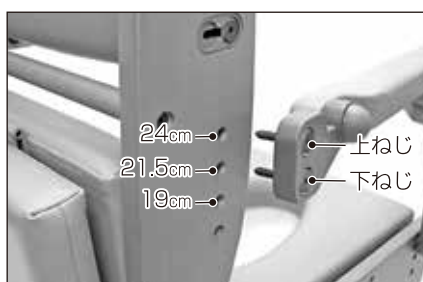
写真③ ボルト 座金

⚠ 注意

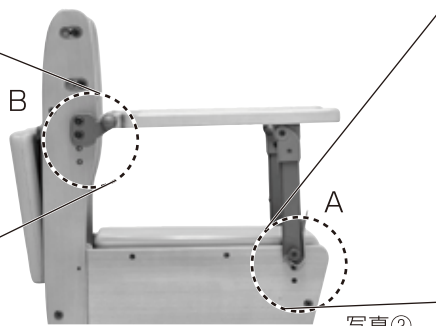
- ※高さ調節は3段階です。
- ※出荷時は一番上の段に取り付けています。
- ※A・B2ヶ所は必ず同じ段階に調節してください。
- ※ボルトは締め過ぎると、はね上げ、下ろす動作がしづらくなります。
- ※ボルトは付属のL型レンチで締め付けしてください。

●肘掛け高さ調節 さわやかチェア PTN

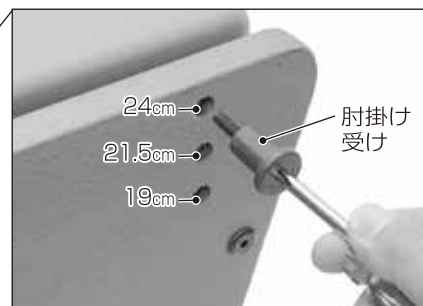
1. 肘掛けを持ちながら付属のL型レンチでBのねじをゆるめて外してください。(写真①②)
2. 上ねじをご利用になる肘掛け高さの穴に合わせ、L型レンチでねじ(上下)を締めてください。(写真①)
3. 付属の+ドライバー(#3)でAの肘掛け受け取付ねじをゆるめて外し、先ほど調節した肘掛け高さと同じ段階に合わせ、+ドライバー(#3)でねじを締めてください。(写真②③)



写真①



写真②



写真③

⚠ 注意

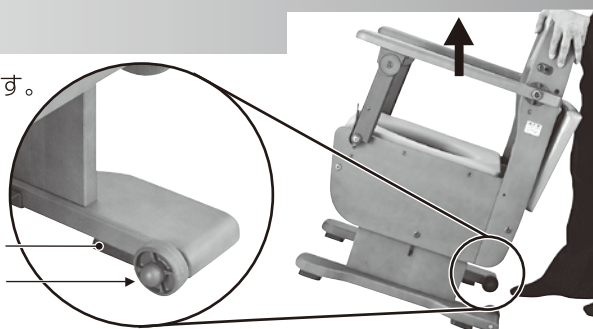
- ※肘掛け取付ねじ(上下)Bと肘掛け受け取付ねじAは同じ段階に調節してください。
- ※肘掛け高さ調節後は、A、Bのねじがゆるんでいないか確認してください。
- ※肘掛け取付上ねじを19cmより下の穴に合わせないでください。
- ※肘掛け取付ねじ(上下)Bはかならず2本とも使用してください。

車輪について

右図のように本体を斜めに傾けると車輪が接地して、動かすことができます。平面な所では脚部のゴムで固定しているので安心してご使用できます。

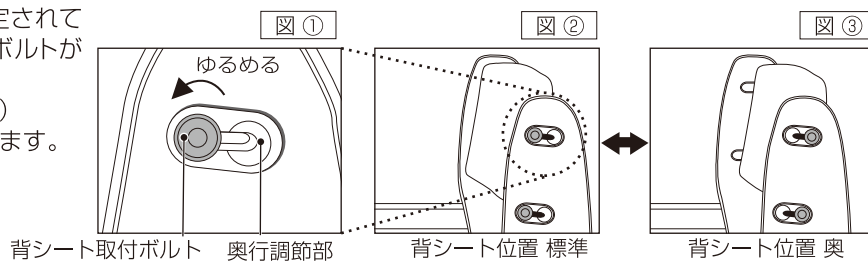
- ※お掃除のとき等、本体の位置を変えたいときにご利用ください。
- ※人や物をのせたまま移動させると故障やケガの原因になりますので、お止めください。

滑り止めゴム
移動用車輪



背シートの奥行調節について

1. 背シートは左右4ヶ所の背シート取付ボルトで固定されています。付属品のL型レンチを用い、全ての取付ボルトが奥行調節部から浮く程度まで緩めます(図①)
2. 背シートを前後にスライドさせます。(図②～図③)
3. 4ヶ所の背シート取付ボルトを締め付けて、固定します。



⚠ 注意

- ※ 背シートは斜めに取り付けができません。
- ※ ボルトは付属品のL型レンチでしっかり締め付けてください。

スペーサーボードの取り扱い方

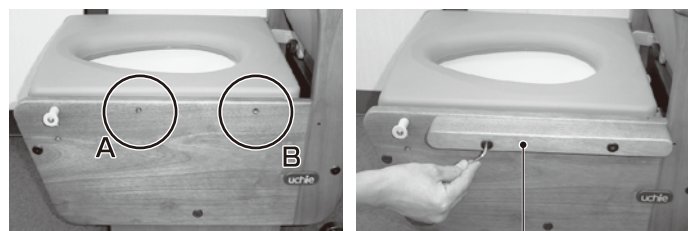
さわやかチェア PT (肘掛けはね上げ)

さわやかあさひ

ベッドとのスキマを埋めるスペーサーボードが、本体側面に付属されています。(肘掛けはね上げタイプのみ)

ベッドの位置に合わせて、左右どちらにでも取り付け可能です。

1. A・B2ヶ所のネジ穴にスペーサーボードを合わせます。(写真①)
2. A・B2ヶ所をボルトでしっかりと締めてください。(写真②)



⚠ 注意

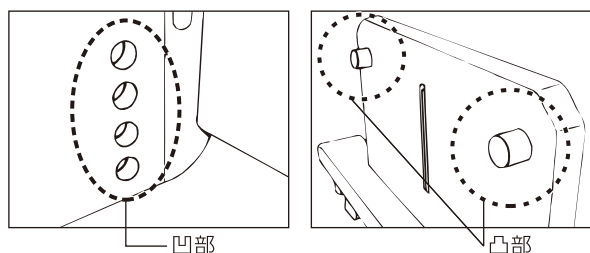
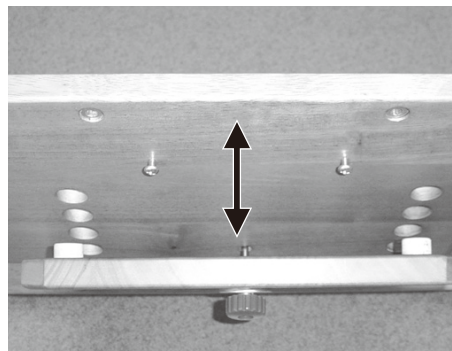
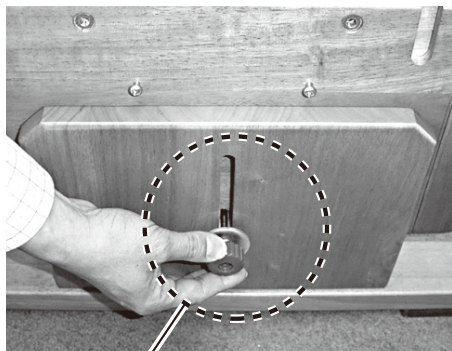
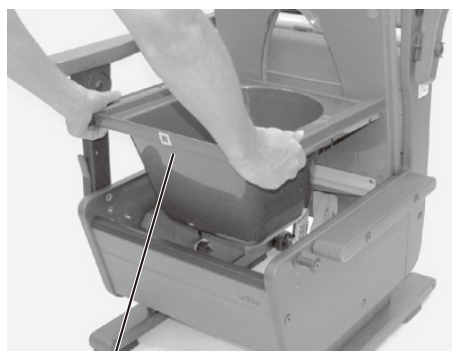
- ※ ボルトは付属品のL型レンチでしっかりと締めてください。
- ※ スペーサーボード使用時は、ベッドの高さ調節には注意してください。
- ※ スペーサーボードがベッドのフレームにあたり、転倒や故障の恐れがあります。

座面の高さ調節の仕方

1. お座りパッドと便座を上げて、バケツ、二重バケツを外します。(写真①)
2. 本体内側にあるノブナットを付属のL型レンチを使用し、ぎりぎりまでゆるめます。(写真②)
3. 本体内側の凹部から脚部の凸部を外してずらします。(写真③)
4. 脚部の凸部をスライドさせて、ご利用になる高さに合わせてください。高さ調節は、4段階です。
5. 脚部の凸部を本体内部の凹部に差し込みます。
6. L型レンチを使用し、ノブナットを締めます。

⚠ 注意

- ※ 高さ調節は片側ずつ行って下さい。
- ※ ご使用の際はノブナットを必ずしっかりと締めてください。
- ※ 高さ調節が困難な場合は、ノブナットを緩め、脚部凸部を完全に外して調節してください。
- ※ 高さ調節は、本体を寝かさずに行ってください。本体を寝かされると、傷がつく恐れがあります。



お座りパッドの上げ方

お座りパッドを写真①のように後方に押しします。後方に押しと2つに折りたたため、背もたれの下に収容されます。パッド内側の汚れが背中当たる事ありません。

- ⚠ 注意** ※戻す時はお座りパッドのひもを前方に引き戻して下さい。(写真③)
 ※お座りパッドに座る際は、バケツにふたをしてからお座りください。
 ※お座りパッドが折りたたまれた状態から、さらに後ろに押さないでください。破損するおそれがあります。



写真①



写真②

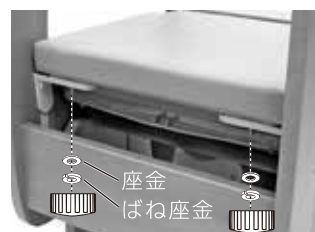


写真③

お座りパッドの取り外し方、取り付け方

1. 後方から左右のノブナットをゆるめて外し、ばね座金と座金を取り外します。(写真①)
2. L型部品を手で押さえながらお座りパッドを上げて外します。(写真②) 反対側も同じように外してください。
 ・取り付ける際はL型部品にお座りパッドのねじを通し、座金とばね座金を入れて片側づつノブナットで固定してください。

- ⚠ 注意** ※取り付ける際は、必ずばね座金を入れてノブナットをしっかりと締めてください。



写真①



L型部品

写真②

二重バケツの取り扱い方

●取り外し方と取り付け方

1. お座りパッドと便座を上げてバケツを取り出し(写真①)、二重バケツを真上に取り外してください。(写真②)
2. 二重バケツを取り付ける際は、二重バケツの'前シール'が貼られた面を前にして(写真②)、二重バケツの凹部をねじに合わせて差し込んでください。(写真③)

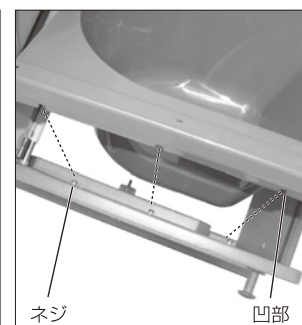
- ・バケツは二重バケツの突起(写真④)の間にバケツのリブ(写真⑤)が入るように、バケツを設置してください。(写真⑥)



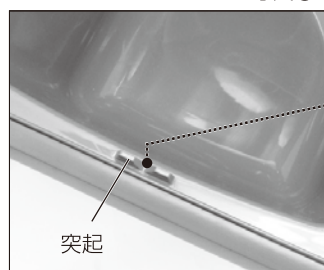
写真①



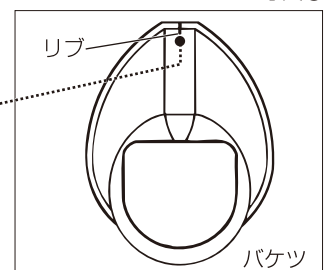
写真②



写真③



写真④



写真⑤



写真⑥

⚠ 注意

- ※二重バケツには前後があります。'前シール'が貼られた面を前にして取り付けてください。
- ※二重バケツに、バケツがしっかり納まっていることを確認してください。
- ※二重バケツにバケツを取り付けた状態で使用してください。二重バケツのみで使用しないでください。
- ※二重バケツを直射日光に当てたり、熱湯をかけないでください。劣化し、破損、けがをするおそれがあります。また、退色するおそれがあります。

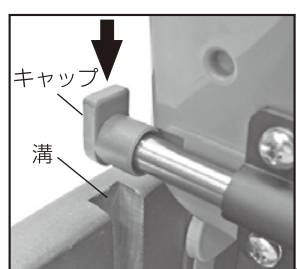
便座の取り扱い方

お座りパッドを開けて便座を上げ、そのまま持ち上げると便座を取り外すことができます。(写真①)

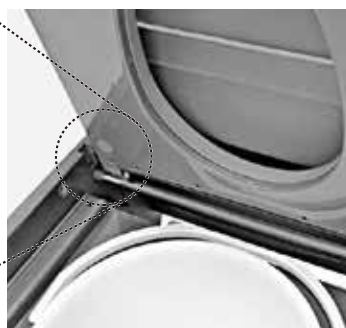
便座を取り付ける際は、お座りパッドを開けて本体の溝と便座受けパイプキャップの向きを合わせ(丸い方を差し込む)、便座を差し込んで取り付けてください。(写真②)



写真①



便座受けパイプ



写真②



便座受け

写真③

⚠ 注意

- ※便座を上げる際は、便座受けに下から指を掛けてゆっくり上げてください。(写真③)
- 便座クッションをつかんで上げると便座クッションが外れるおそれがあります。

尿ハネガードについて

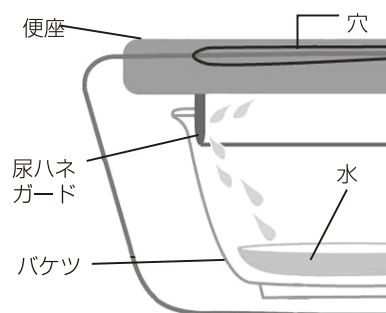
便座は尿ハネガード付きです。尿飛び、尿ハネを防ぎます。

⚠ 注意

- ※使用状況によっては、尿飛び、尿ハネが起こる可能性があります。
- ※ホット便座には付きません。



尿ハネガード

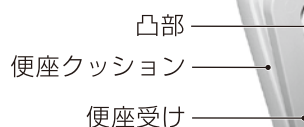


便座とバケツのすきまを埋めます。

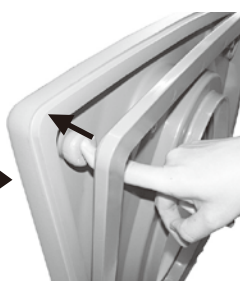
便座クッションの取り外し、取り付け方

● 取り外し方

便座の裏側から便座クッションを押し取り外してください。(写真①②)



写真①



写真②

● 取り付け方

便座クッション裏面の凸部を便座受けの穴に合わせ、上からしっかり押し付けてください。(写真③)



写真③

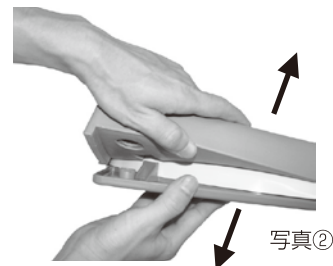
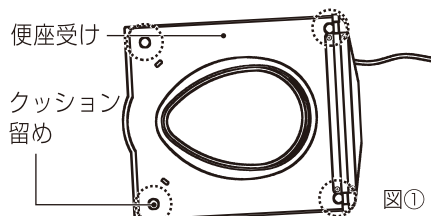
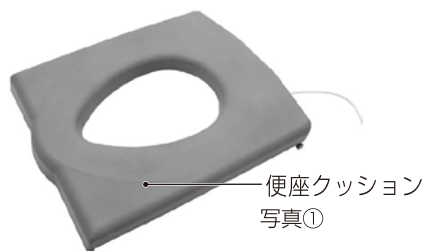
⚠ 注意

- ※頻りに便座クッションを取り外さないでください。何度も外されると裏面の凸部が破損するおそれがあります。
- ※便座クッションを取り外す際は、必ず裏側から便座クッションを押し取り外してください。
- ※便座クッションを横から引っ張ったり、力を入れて抜かないでください。便座クッションが裂ける場合がございます。
- ※便座クッションがしっかり固定されているか確認し、使用してください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。

ホット便座クッションの取り外し、取り付け方

● 取り外し方

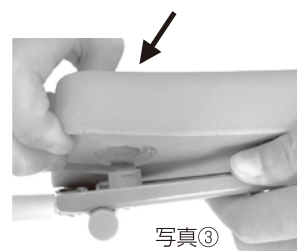
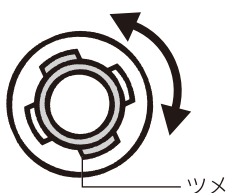
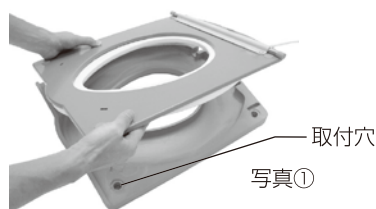
1. 便座を本体から取り外し、便座クッション（表面）を上向きに置いてください。（写真①）
2. クッション留め（4ヶ所・図①）周辺の便座クッションと便座受けの間に指を入れて、便座クッションを取外してください。（写真②）



⚠ 注意 ※便座クッションはゆっくりと取り外してください。破損するおそれがあります。

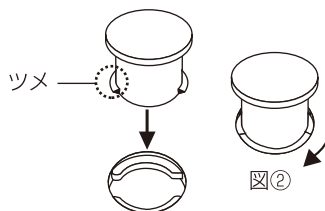
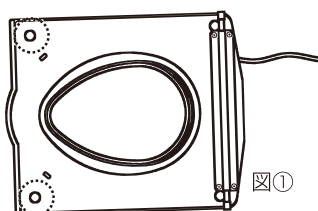
● 取り付け方

1. クッション留めのツメが90°回転していることを確認し、裏返した便座クッションに便座受けをのせてください。（写真①）
2. 便座クッションの取付穴にクッション留めを合わせ、クッション留めを押し込んでください。（4ヶ所・写真②）
便座クッションが入りにくい場合は、便座クッションをめくり、クッション留めと取付穴が合っていることを確認しながら、便座クッションを押し込んでください。（写真③）



● クッション留めが外れた場合

1. 裏返した便座クッションにプラスチック部をのせてください。（図①）
2. クッション留めのツメとプラスチック部の取付穴の凹部を合わせて差込み、ツメが抜けないようにクッション留めを90°回転させて、押し込んでください。（図②・写真①）



MEMO

ホット便座について

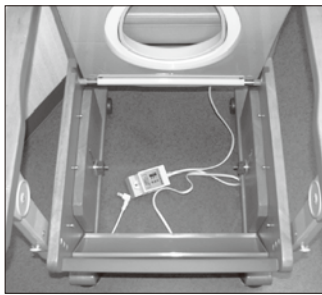
冬でも暖かなホット便座です。
表面はやわらかなので、長時間
座る方にも最適です。

※ホット便座は後付けができません。

●ホット便座の取り付け時の注意

※ホット便座の外し方、取り付け方は、
『便座の外し方』を参照ください。

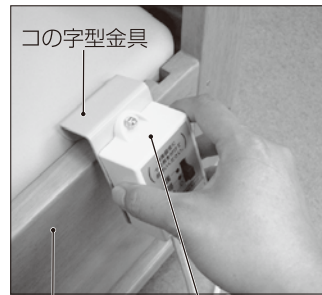
1. ホット便座にはコードがついています。
ポータブルトイレ本体の中にコードを
垂らしてから便座を取り付けてくだ
さい。(写真①)コードを外に出したまま便座を取り付けると、便座を下した時に便座と本体にコードが挟まれ故障の原因となります。
2. 本体の後ろ、もしくは横からコードを出し(写真②)、スイッチボックスのコの字型金具を横板(写真③)、または後板に掛けて使用し
てください。(写真④)
※肘掛け自在タイプで両側とも短い肘掛けを使用している場合はコの字型金具を後板に掛けてください。
※さわやかあさひはスペーサーボードの無い側にコの字型金具を掛けてください。



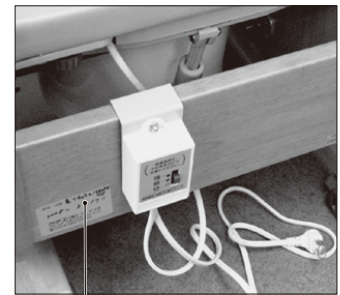
写真①



写真②



写真③
コの字型金具
横板
スイッチボックス



写真④
後板

⚠️ 注意

- ※スイッチボックスを必要以上に引っ張らないでください。破損、故障の原因となります。
- ※コードを便座とお座りパッドではさまないように注意してください。

●ホット便座クッションの洗い方について

ホット便座の便座クッションは取り外して洗え、いつでも清潔にご使用いただけます。
便座、便座受けは水をふくませて固くしぼった布で拭いてください。汚れがひどい時は
水で薄めた中性洗剤をふくませたやわらかい布で拭いてください。その後、水拭きし、
洗剤が残らないように拭き取ってください。

- ※便座、スイッチボックスは電化製品が含まれていますので、絶対に洗わないでください。
故障の原因になります。
- ※便座、便座受けのお手入れ時には、安全のため、コンセントを外して行ってください。
- ※ウェットティッシュ(アルコール入)で便座クッションを拭くと色落ちしますのでお止め
ください。

⚠️ 注意 ホット便座ご使用時の注意

季節やご使用方法によってホット便座の体感温度が低く感じる事があるかもしれませんが、
便座クッションを外してのご使用は絶対になさらないでください。固定部品がついていま
すので、ケガをする恐れがあります。



電源を入れても便座はすぐに温まりません。暖房が必要な方は使用しない時も
電源を入れたままにしてください。また、お座りパッドは閉めてください。

ホット便座の取扱説明書


■ご使用方法

1. 電源プラグをコンセントに差し込んでください。電源は交流100V(50/60Hz)です。この時ほこりが付着していないか確認し、根元まで確実に差し込んでください。
 2. 電源スイッチを「切」の位置から「弱」または「強」にしてください。
なお、スイッチを入れても便座はすぐに温まりません。温まるまで約60分かかります。
- ※お座りパッドを開いたままですと温まりにくくなります。
※使用しない時は、お座りパッドを閉めてください。


■仕様

定格	AC100V-35W
表面温度	強/34~38℃ 弱/31~35℃ (室温20℃の時)
発熱体	ヒーター
スイッチ(温度調節)	強・弱 二段切替式
電源コード	ビニールコード
電源プラグ側	長さ1m

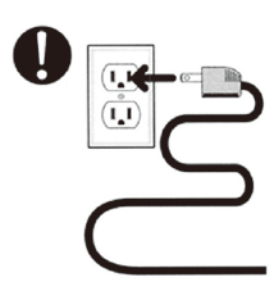
■安全上の注意事項 (安全のため必ずお守りください。)




ホット便座は電気製品ですので、バスルーム内などの水のかかる場所や、湿気の多い場所には絶対に設置しないでください。
感電や火災・故障の原因となります。




禁止
設置する室内にコンセントがあるか、コンセントがコードの長さの範囲にあるか確認をしてください。コードを無理に引っ張ったり、継ぎ足しはしないでください。
電源プラグをコンセントに差し込んだまま、トイレ本体を移動させないでください。




電源プラグはコンセントにしっかり差し込んでください。
電源プラグにほこりが付着したりがたつきがあると、接続が不完全となり、感電や火災の原因となります。



電源プラグを抜く場合は、プラグをもって抜いてください。コードを引っ張って抜くと断線し、感電や漏電、火災の原因となります。
長期間使用しない場合や、雷が発生している場合、お手入れの際は、安全のため電源プラグを抜いてください。感電や火災の原因となります。




やけど注意 **適温**
健康な方には適温でも、温度感覚のない方などが使用する場合、低温やけどを起こすことがあります。下記のような方のご使用の際には、特にご注意ください。
● お子様やお年寄り
● 病人や身体の不自由な方
● 皮膚の弱い方
● 疲労の激しい方・深酒されている方・睡眠薬を使用した方



強制
電源は、交流100V(50/60Hz)です。かならずこれに適した配線をしてください。感電や火災の原因となります。コンセントは水のかからない位置に配置してください。




感電注意
電源スイッチ・電源プラグ・便座に水や小便をかけないでください。漏電や故障、感電の原因となります。



分解禁止
異常が発生した場合はすぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めいただいた販売店に連絡してください。分解はしないでください。異常のまま使用を続けたり、分解すると、感電や火災の原因となります。



禁止
お座りパッドや便座の上に乗ったり、重いものを載せないでください。便座が割れたり、便座内ヒーターが断線するなど、漏電および感電の原因となります。



禁止
便座カバーは使用しないでください。漏電、感電、故障の原因となります。

安全上の注意事項

使用上のご注意

安全のため必ずお守りください

- 本製品を本来の目的以外で使用したり、お客様ご自身での改造や分解が原因で起きた破損・事故に関しましては、保証対象外となりますのでお止めください。
- 故障の原因となりますので、次のところに放置しないでください。
 - ・戸外 ・雨に濡れるような場所 ・直射日光のあたる場所 ・冷暖房器の冷気や熱気が直接当たる場所
 - ・潮風の当たる場所 ・ストーブなど火気の近く ・高温多湿、低温な場所 ・風通しの悪い場所
- 物を載せて運ぶなど、『ポータブルトイレ』以外の用途で使用しないでください。破損、転倒、けがをすることがあります。
- 平坦な場所で使用してください。本体ががたついたり、変形、破損することがあります。
- Pタイルやフローリングなど硬質な滑りやすい床面で使用する場合は、乗り降りの際に特に注意してください。
- がたつく場所や段差では車輪を使用しないでください。車輪や本体が破損することがあります。
- 人が座っている状態やものを載せた状態での移動、パケツ内に水や汚物を入れたままでの移動はしないでください。破損、転倒、けがをすることが水や汚物がこぼれるおそれがあります。
- ねじがゆるんだまま使用しないでください。破損、けがをすることがあります。
- 各部調節後はねじをしっかり締めてください。
- 便座の高さ調節は使用者の足が床に付く高さにしてください。使用者が転倒することがあります。
- 下肢の筋力低下により倒れ込むように座られると本体が破損することがあります。
- 立ち座りが安定しないなど、使用者の状況によっては介助者付き添いのうえ使用してください。
- ベッドサイドなどで使用する際はポータブルトイレの左右どちらかを、すきまをあけず隣接させて使用してください。
- 踏み台の代わりとして座面の上や肘掛けなどに立たないでください。特に便座穴にあたる中央部に荷重を掛けると、お座りパッドが破損することがあります。
- 肘掛けや背シートを取り外した状態で使用しないでください。破損、けがをすることがあります。
- 勢いよく座らないでください。破損、転倒、けがをすることがあります。
- お座りパッドや便座の前縁部に腰掛けしないでください。転倒してけがをすることがあります。
- 座った状態で身体を横方向に大きく傾けるなど、片側だけに体重を掛けしないでください。また、身体を乗り出さないでください。転倒することがあります。
- 肘掛けや、座面の片側だけに無理な荷重をかけないでください。破損、転倒、けがをすることがあります。
- 肘掛けに腰掛けたり、もたれないでください。破損、転倒、けがをすることがあります。
- 肘掛けに重いものを引っ掛けしないでください。破損、転倒、けがをすることがあります。
- 肘掛けや、背シートをななめや他方向から押さないでください。破損、転倒、けがをすることがあります。
- 肘掛けをはね上げた状態で肘掛けの内外から荷重を掛けしないでください。破損することがあります。
- 肘掛けをはね上げた状態で背もたれに過度な荷重を掛けしないでください。破損することがあります。
- 肘掛けをはね上げたり下ろす際に、腕や手、指などをはさまないように注意してください。
- 肘掛けをはね上げて横移乗した後等の使用時には、必ず肘掛けをロックしてください。ロックされていないと不意に肘掛けがはね上がり、破損、転倒、けがをすることがあります。ロックする際は、指をつめたり、けががないよう注意してください。
- 背シートを立ち上がりや、つたい歩き等のために使用しないでください。転倒、けがをすることがあります。
- 背シートを後方に押さないでください。車輪で本体が動き、転倒してけがをすることがあります。
- 電源プラグの表面にホコリが付着している場合、乾いた布などでよく拭き取ってください。発火することがあります。
- 電源コードが破損する、次の行為はしないでください。
 - ・踏む ・重いものを載せる ・無理な力で引っ張る ・足を引っ掛ける ・折り曲げたり束ねる
- 電源プラグを濡れた手で抜き差ししないでください。感電や故障のおそれがあります。
- 本体に直接水を掛けて洗わないでください。
- 安心、安全にお使いいただくため、使用前や定期的に点検を実施してください。製品に異常がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店にご連絡ください。

お手入れ方法

- 水拭きした後、乾いた布で拭き取ってください。
- 汚れがひどい時には水で薄めた中性洗剤を布に浸し、強く絞って拭いてください。その後、乾いた布で拭き取ってください。※ご利用の洗剤の使用方法にあわせてください。
- 木部を頻繁に拭きますと塗装がはがれるため、変色の可能性があります。
- お手入れには、トイレ用洗剤・塩素系、酸性、アルカリ性洗剤・除菌剤・殺虫剤・クレンザー・クレゾール・アルコール・ウェットティッシュ（アルコール入）・シンナー・ベンジン・灯油などの溶剤は絶対に使用しないでください。また、ナイロンたわしなどを使ってお手入れをされますと傷みの原因となりますのでおやめください。
- 便座クッションに60℃以上の熱湯をかけないでください。EVA、樹脂部品等が変形、劣化し、破損、けがの原因となります。

商品廃棄方法

各市区町村条例で定められた分別に従って廃棄してください。

ウチワ株式会社 サービス係

本社／大阪営業所 〒660-0805 兵庫県尼崎市西長洲町2-8-29 TEL(06)6482-0230 FAX(06)6401-6372

関東営業所 〒271-0087 千葉県松戸市三矢小台4-12-3 TEL(047)362-0311 FAX(047)362-0312

福岡営業所 〒819-1107 福岡県糸島市波多江駅北4-6-5 TEL(092)323-4331 FAX(092)323-4332

兵庫工場 〒673-1334 兵庫県加東市吉井732-1

検査印

●常に皆様のご要望に応え、改善して参りますので、デザイン・色柄・仕様は予告無く変更する場合がございます。予めご了承ください。

24.09.Ⅲ